

発生・発見日時 令和 7年 3月13日 11時 00分頃

天 竜 川 右岸 国道150号 掛塚橋南 (2.6 km)



河口から2.6kmあたりの右岸の土手の「河底になったふるさとの碑」の周りが、きれいに手入れ
されていました。天竜川の氾濫に悩まされ続けた村々が、大正末期から昭和前期にかけて川幅を
広げてもらうように願い出、多くの村を洪水から守るために2つの村が河底に沈んだそうです。
対岸の風車がよく回っていました。空っ風が吹き荒れる冬は安全確保のため、羽根を止めること
がありそうですが、春が近づき、おだやかな天候になりそうです。河原に人影や車は見られませ
んでした。

[illegible]